



平成22年6月7日

各 位

上場会社名 シンワアートオークション株式会社
 代表者 代表取締役社長 倉田 陽一郎
 (コード番号 2437)
 問合せ先責任者 経理部長 益戸 佳治
 (TEL 03-3520-0066)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年1月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年5月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年6月1日～平成22年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	920	△125	△125	△147	△2,688.12
今回発表予想(B)	734	△280	△277	△299	△5,458.46
増減額(B-A)	△186	△155	△152	△152	
増減率(%)	△20.2	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年5月期)	1,077	△198	△191	△279	△4,962.09

修正の理由

売上高

当社主力部門である近代美術においては、価格下落傾向は徐々に収束しつつあるものの出品点数の減少により取扱高が伸びず、また、コンテンポラリーアートを2010年5月に香港で開催するASIAN ART AUCTION ALLIANCE COMPANY LIMITED社主催のオークションへシフトしたことにより取扱高予算と実績にかい離が生じました。その結果、取扱高合計が当初予想を大きく下回ることとなり、売上高は前回予想を186百万円下回る見込みであります。なお、当社は、平成22年2月から有料会員制を導入し、また平成22年3月開催のオークションより落札手数料を改定しております。これらの施策により、現時点では落札単価は下げ止まりの傾向にあり、出品点数も回復の兆しを見せておりますが、当事業年度中の売上高減少を補うことはできませんでした。

営業利益

引き続き損益改善活動に全力で取り組んでおり、販売費及び一般管理費の削減につきましては概ね予想どおりに推移いたしました。売上高の減少を補うまでには至りませんでした。また、当社の取引先1社との取引において未収入金が長期化したため、当事業年度末時点において全額の34百万円を引当金として計上しております。

経常利益・当期純利益につきましても、ともに前回予想を下回る見通しであります。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上